

2010年11月期 第2四半期 決算説明会

株式会社T&Cホールディングス



2010年7月21日

ハイライト	3
2010年11月期第2四半期業績の概況	4
2010年11月期第2四半期のトピック	12
今後の展望	19
Our Strategy	27
持分法を適用した場合のバランスシート	29
会社概要	31
本資料における注記事項	32

◆売上高前年同期比24.5%減収 営業損失72百万円

- ◇当期純利益28百万円 ー 関係会社売却損益の発生 ー
- ◇国内の為替・国際金融情報の落込みと中国株投資情報の改善

◆キャッシュ・フロー重視の経営戦略へ

◇財務基盤の強化

Fin-China ・ NextVIEWの売却完了
更なる資本増強検討

◇営業キャッシュ・フローの黒字化

更なる経費削減 ・ 事務所の移転

◇成長の再創造

メディエート
Marco Polo XTF } 子会社化

2010年11月期 第2四半期業績の概況

損益計算書概要

()内は対売上高比率 / (単位:百万円)

	2009年11月期 第2四半期実績	2010年11月期 第2四半期実績	増減率
売上	590	445	△24.5%
売上原価	299 (50.7%)	222 (49.9%)	△25.8%
販売費及び 一般管理費	396 (67.1%)	295 (66.3%)	△25.5%
営業利益	△105	△72	—
経常利益	△160	△127	—
特別利益	8	424	—
特別損失	0	148	—
当期純利益	△138	28	—

●売上 前年同期比 △144百万円・・・

投資情報提供事業

: 中国金融データを提供するFin-China を連結除外にしたことにより売上高は大幅減少。国内中国株情報提供は好調に推移したが、日本株、為替・国際金融情報提供の減少が続く。

金融アドバイザー事業

: ファンド契約の伸び悩みに伴い管理料収入が減少。

その他の事業

: エンターテインメント事業→海外セールス事業にシフト。
ライセンス事業→特許使用料を計上。

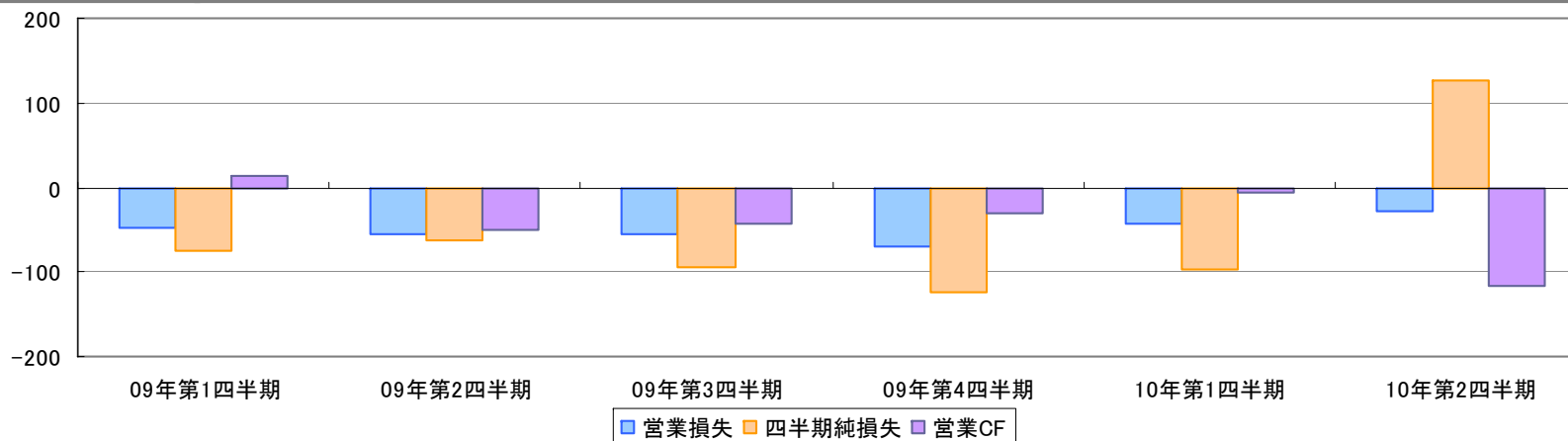
●売上原価 前年同期比 △77百万円・・・Fin-China の連結除外や映画制作費償却がなく、その他人件費も圧縮を進め、前年比で減少。

●販管費及び一般管理費 前年同期比 △100百万円・・・FAUSAの拠点閉鎖やPicturesの再編を中心に経費削減策が奏功。

連結

(単位:百万円)

	2009年11月期 第1四半期実績	2009年11月期 第2四半期実績	2009年11月期 第3四半期実績	2009年11月期 第4四半期実績	2010年11月期 第1四半期実績	2010年11月期 第2四半期実績
売上	318	271	314	264	259	185
営業損失	△ 49	△ 56	△ 55	△ 71	△ 42	△ 29
四半期純利益	△ 74	△ 63	△ 95	△ 124	△ 98	127
純資産	1,294	1,203	1,063	893	821	958
総資産	2,537	2,442	2,348	2,230	2,263	1,999
営業活動による キャッシュ・フロー	13	△ 51	△ 42	△ 31	△ 5	△ 116
投資活動による キャッシュ・フロー	62	47	△ 42	148	62	81
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 138	21	△ 1	△ 97	△ 36	△ 40





《売上／経常利益の推移》

(単位: 百万円)



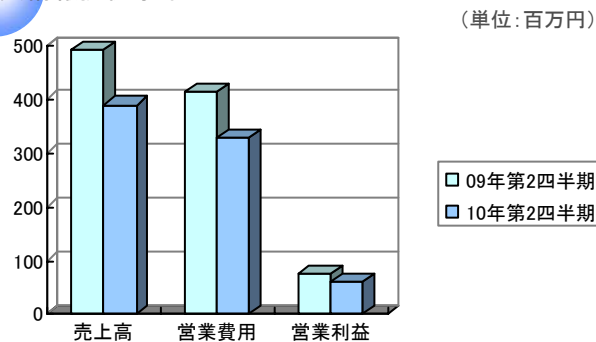
事業の種類別セグメント情報(第2四半期実績比較)

(単位:千円)

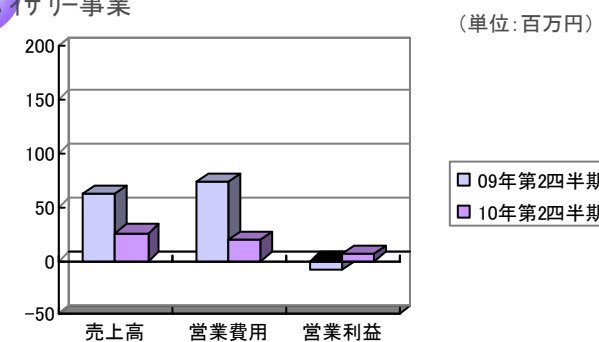
		投資情報提供事業	金融アドバイザー事業	その他の事業	消去又は 全社	連結
売上高	09	490,593	62,679	36,852	-	590,125
	10	389,288	26,180	29,843	-	445,312
	増減	△20.6%	△58.2%	△19.0%	-	△24.5%
営業費用	09	413,272	73,048	49,591	159,901	695,814
	10	327,327	19,823	33,324	137,465	517,941
	増減	△20.8%	△72.9%	△32.8%	△14.0%	△25.6%
営業利益又は 営業損失(△)	09	77,321	△9,687	△12,739	△160,582	△105,688
	10	61,960	6,356	△3,481	△137,465	△72,628
	増減	△19.9%	-	-	-	-

*売上高は、外部顧客に対する売上高
*営業利益は、セグメント間売上高を算入したもの

投資情報提供事業



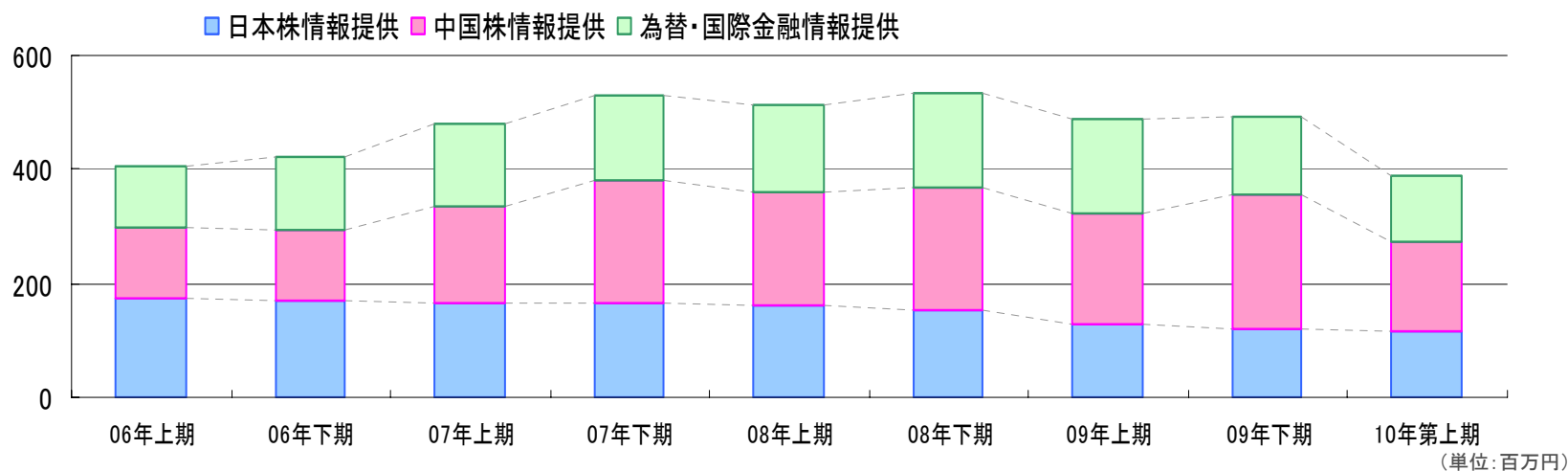
金融アドバイザー事業



投資情報提供事業

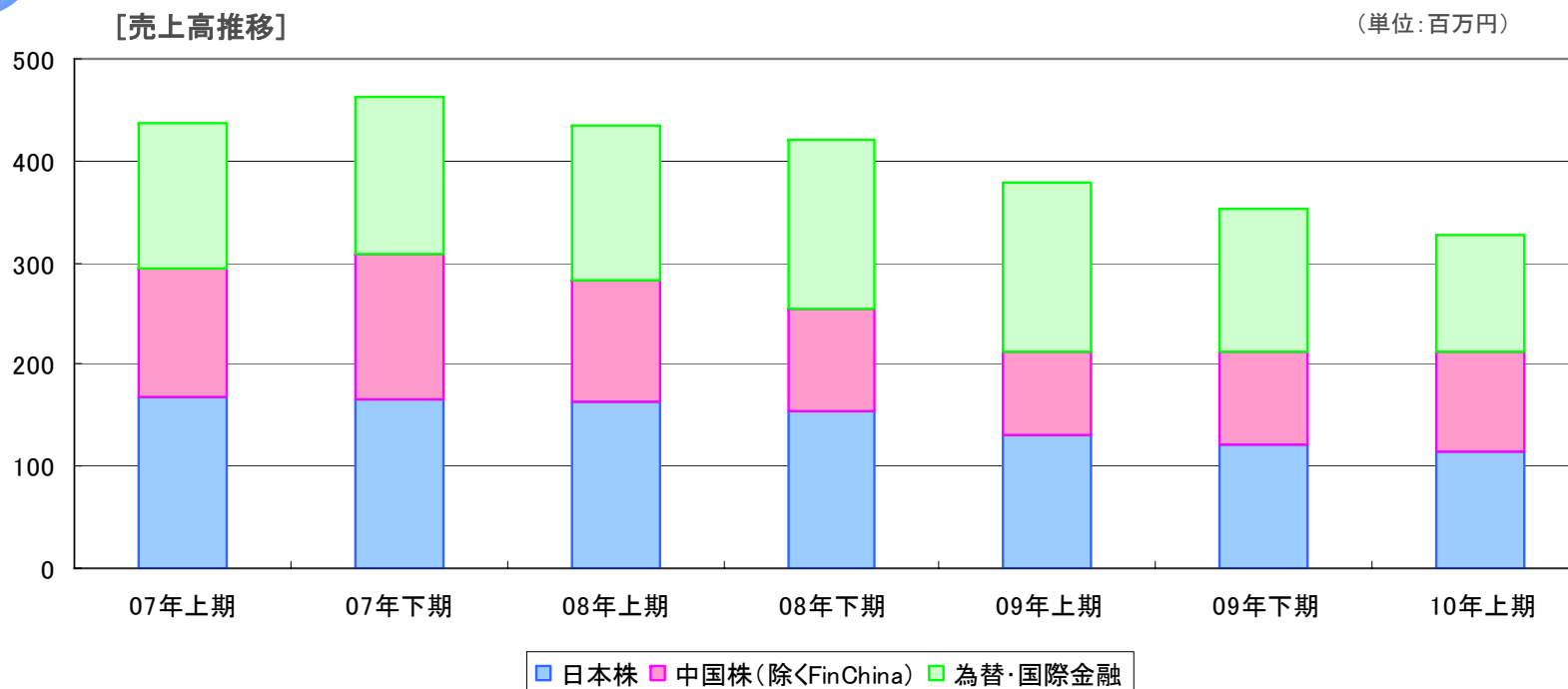
(単位: 百万円)

[売上高推移]



	2009年11月期 第2四半期実績	2010年11月期 第2四半期実績	前年同期比 増減率	増減要因
投資情報提供事業	490	389	△20.6%	中国株情報、中国金融データベース情報が堅調に推移するも、日本株・為替国際金融情報提供が減収。
日本株情報提供	130	114	△12.2%	法人向け投資情報サービス、及び個人向け投資情報サイト「トレーダーズ・プレミアム」が、ともに減収。
中国株情報提供	193	158	△18.2%	Fin-China の連結除外により減少するも、国内の中国株情報提供サービスは好調に推移。
為替・国際金融情報提供	166	116	△30.2%	リアルタイム為替ニュースの販売が減収。コモディティ情報の販売中止も響く。

投資情報提供事業 Fin-Chinaを除いた場合



◆Fin-Chinaを除いた場合の売上高

(単位: 百万円)

	07年上期	07年下期	08年上期	08年下期	09年上期	09年下期	10年上期
日本株	167	166	163	155	130	120	114
中国株(除くFin-China)	125	142	120	98	81	93	97
為替・国際金融	143	152	152	167	166	138	116
投資情報提供事業(除くFin-China)	436	461	435	421	378	351	328

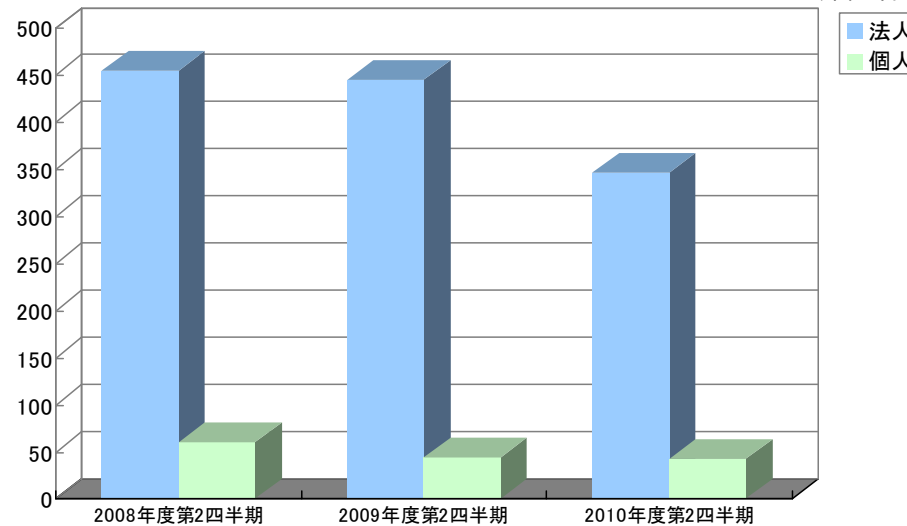
顧客別売上高

(単位:百万円)

	2008年11月期 第2四半期実績	2009年11月期 第2四半期実績	2010年11月期 第2四半期実績	前年同期比 増減率
個人顧客	60	44	43	△3.5%
法人顧客 (Fin-China除く)	454 (374)	445 (333)	346 (284)	△22.4% (△14.7%)

注意)個人顧客とは、トレーダーズ・プレミアム、トレーダーズ・モバイル、TRANSLINK、個人への二季報の販売を合計しております。

(単位:百万円)



法人向けサービスの減収続くが、個人向けサービスに下げ止まりの傾向。

2010年11月期第2四半期のトピック

米国での投資情報提供事業拡大

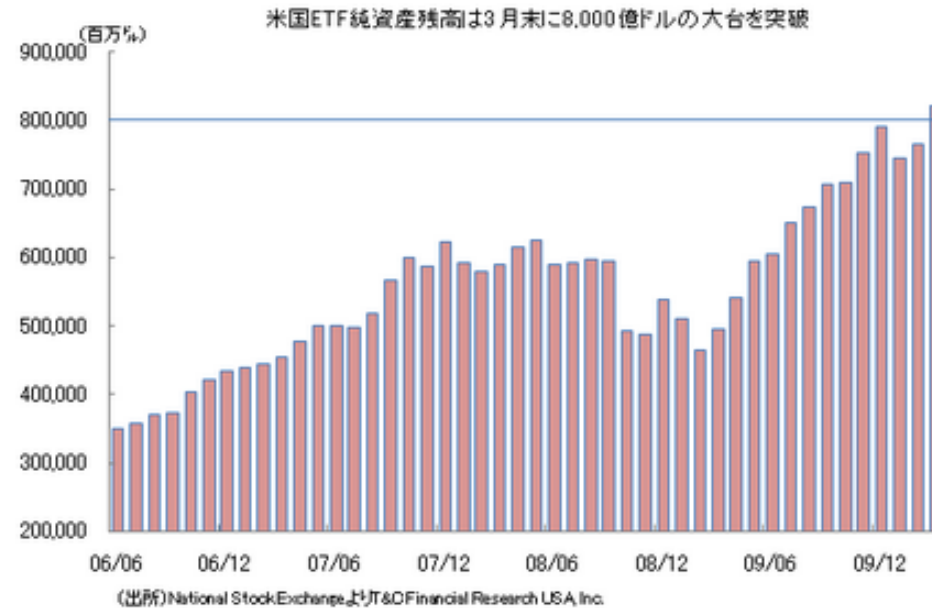
<コンテンツの拡充>

Marco Polo XTF のレーティングをETFのグローバルスタンダードへ

- ⇒ 米国にてETFデータベース、レーティングサービスを提供するMarco Polo XTF 社の子会社化決定
- ⇒ 世界のETF情報をグローバルに提供
- ⇒ 日本国内ではコンサルティング事業に注力

【Marco Polo XTF 社の主要契約社】

- THE STREET.COM
- VALUE LINE
- SEEKING ALPHA
- FIDELITY

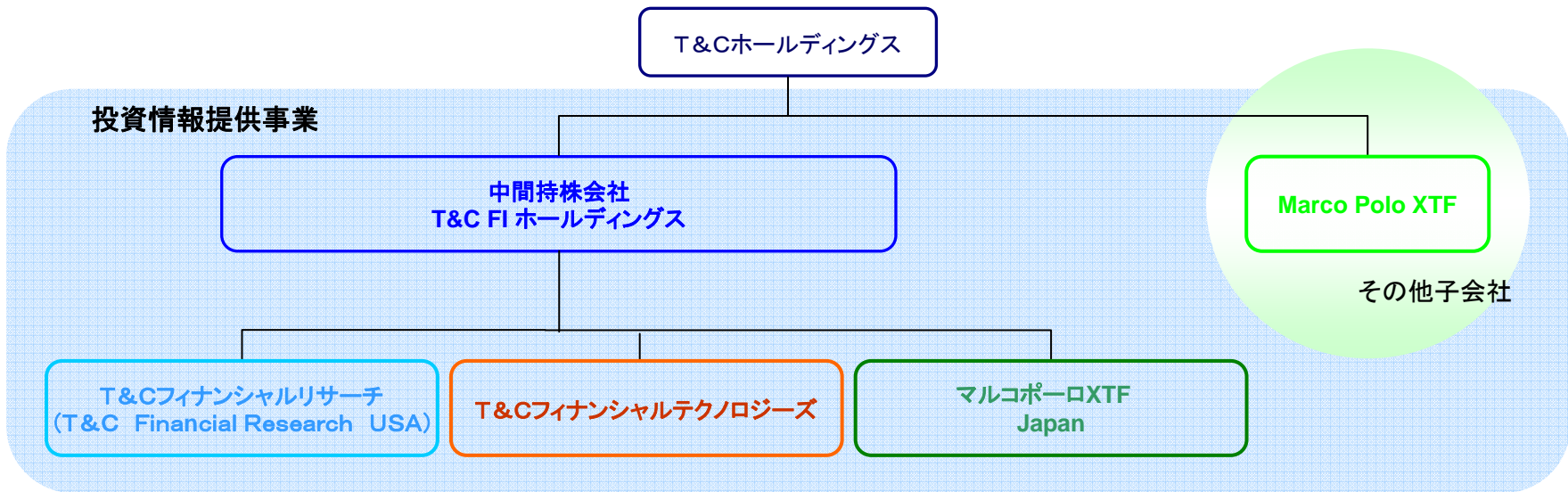


Fin-China の持分譲渡完了

中国における投資情報事業拠点Fin-Chinaの持分を売却

⇒流動資金の確保

投資情報提供事業新体制



第三者割当増資の実施

＜第三者割当増資の内容＞

払込期日	平成22年6月10日
増資前株式数	14,784株
増加株式数	2,424株
増資後株式数	17,208株
調達金額	79,992千円
資本金組入額	39,996千円
調達資金	約45百万円 (約33百万円はデット・エクイティ・スワップのため)
資金使途	①運転資金 計画に従い充当中 ②オフィス移転費用 7月下旬の事務所移転に合わせて発生。

手元流動性を高め、財務の健全性を強化。安定的な成長を狙う。

NextVIEW Pte Ltd 株式の売却

シンガポールで投資情報提供事業を行うNextVIEW社の全株式を売却

- ①アジアでの投資情報提供事業の収益化に時間
- ②流動資金の確保
- ③ETFを中心とした投資情報、米国での投資情報提供事業にシフト

関係会社株式売却損(連結) 111百万円を計上
Fin-Chinaの持分譲渡益が424百万円発生するため、業績への影響は軽減



選択と集中を加速
売却によるキャッシュの確保

本店所在地の変更

1. 新本店の所在地
東京都港区芝浦一丁目12番3号
電話番号: 03-5443-7489 / FAX番号: 03-5443-7771
2. 移転日(業務開始日)
平成22年7月26日予定



・経営効率の改善

オープンにしたオフィスレイアウトにより、グループ間のコミュニケーション増加。
これまで以上に密な連携を取っていくことでサービス向上、業績upにつなげる。

・コスト削減

家賃を大幅に抑え、全社的に経費削減
削減効果: 初年度 28百万円、次年度以降 27百万円 (現オフィスとの比較)

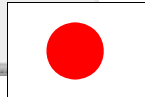
G20マーケット・インサイトの拡充

・資産運用のグローバル化が広がる中、グローバル・マーケットの動向における“key”ファクターを鋭く分析したプロフェッショナル性の高い情報を、投資家の皆様にタイムリーに提供



韓国向け fx wave スタート

・Fxリアルタイムニュース “fx wave” が韓国で情報提供開始



今後の展望

基本戦略

①財務基盤の強化 —— 更なる資産売却等

②徹底した経費削減・リストラにより早期に営業キャッシュフロー黒字化

③選択と集中による成長戦略の再創造

■投資情報提供事業

- ・グローバル分散投資情報に集中
- ・ETFを戦略商品に
- ・XTF買収により米国市場本格開拓

■新規事業

- ・医療機器製造販売メーカー (株)メディエートの子会社化

保有資産の売却

特定子会社である **Financial China Information & Technology Co., Ltd.** の株式を35百万元で譲渡
(2010年3月1日売却完了)

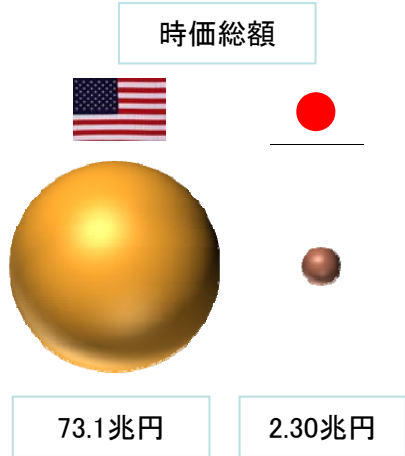
～ 売却資金を今後の経営改善策に充当、積極的なリストラクチャリングを展開 ～

連結売却益約424百万円を痛んだ財務の修復に

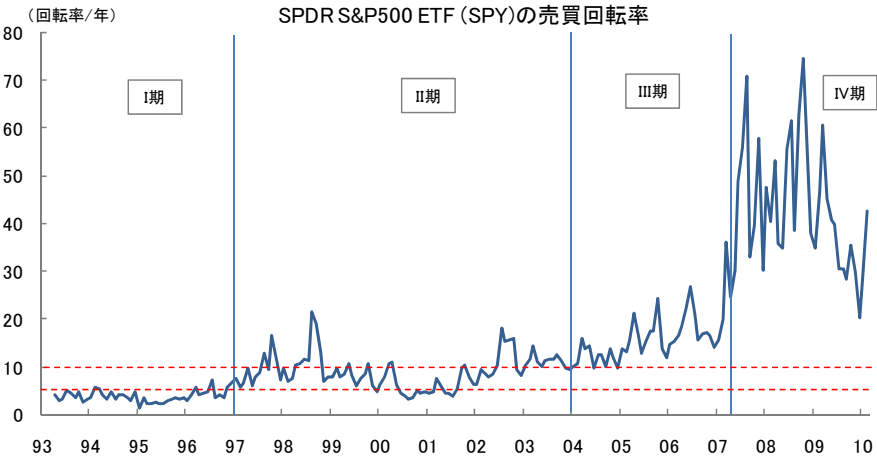
戦略変更による更なる資産売却

新たな戦略を基に業務・資本提携

ETFによるグローバル化戦略



(注)時価総額: 2009年12月末。換算為替レート: \$1 = ¥92.38
 (出所)東京証券取引所などの公開資料より、マルコポーロXTF Japan作成。



(注)回転率は月間出来高÷(月平均株数×営業日数)で月間の数値を計算した後×12カ月として年率化している。
 (出所)ブルームバーグよりT&C Financial Research USA, Inc.

米国の代表的ETF=SPY の歴史

～低回転率の時代から高回転率の時代に～

低売買回転率
 長期投資家中心のマーケット

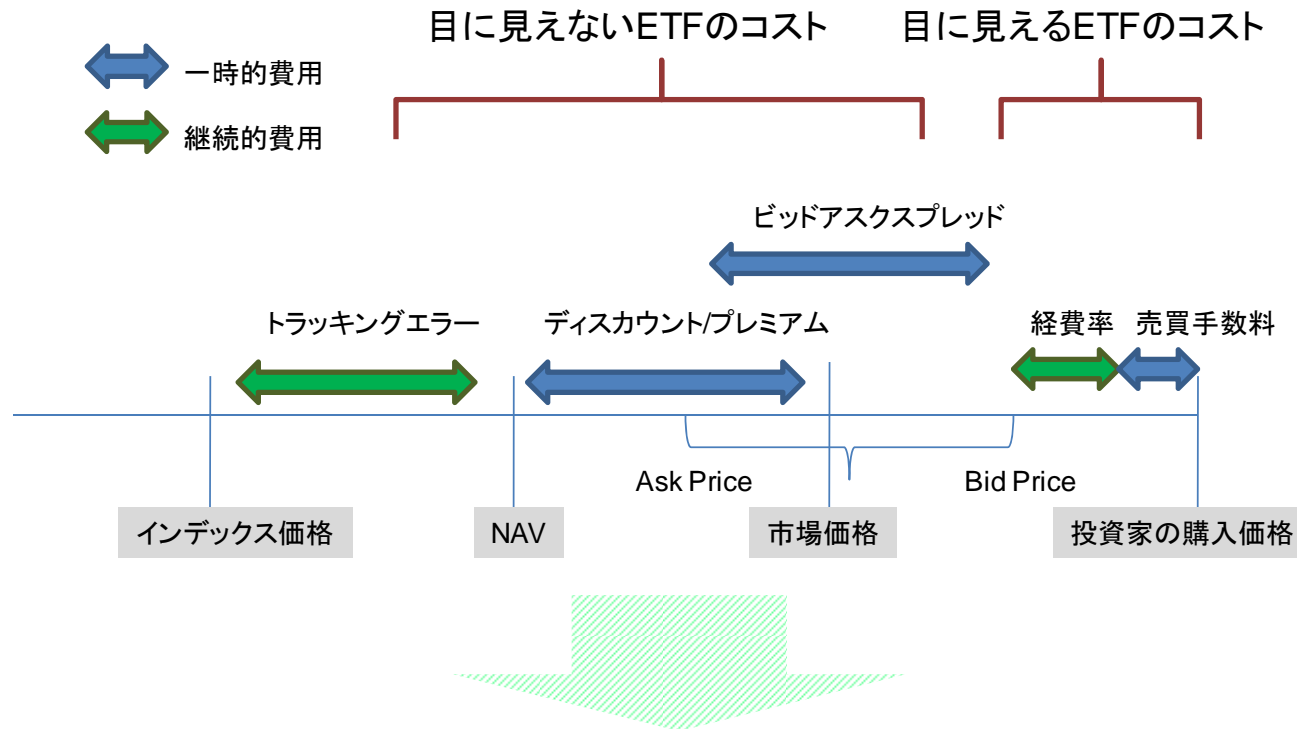
高売買回転率
 短期投資家(トレーダー)中心のマーケット

一時的費用よりも継続的費用が重要

継続的費用よりも一時的費用が重要

重要性が高まるETF情報

一時的費用は、投資家の目に見え難いコスト、これを見やすくするための情報提供が重要になる



Marco Polo XTF の情報力



Marco Polo XTF の充実した情報コンテンツ

ETF Market Summary

Aggregate

- The US ETF marketplace has 1,912 Exchange Traded Products from 42 Fund Sponsors, 75 Index Providers listed on 3 Exchanges.
- ETF assets total \$800.35B in US dollars.
- The average daily trade volume (ADV) has decreased by 1.2% to \$79.62B as compared to the same period last year.

Year-to-date (YTD)

- The number of ETF's has increased 9.3% with 109 new funds launched and 23 delisted.
- ETF assets have risen by 2.3%, an increase of \$18.03B.
- Net Inflows were \$39.71B.

6月 2010

- There were 12 new funds launched.
- ETF assets decreased \$20B, a decline of .8% over the previous month.
- Net Inflows were \$12.46B.
- Average daily trade volume decreased 33.6% to \$79.06B in US dollars.

[View complete ETF Industry Stats...](#)

(マーケット・プレイス)

Search Results

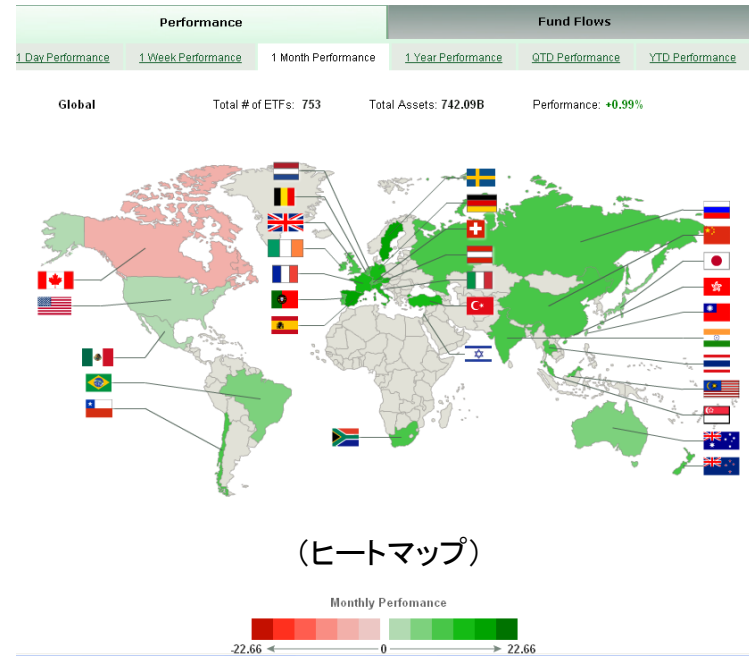
Geography: All | Investment Philosophy: All | Asset Class: All | Index Composition: All

Average XTF Rating 5.08 Total # of ETFs : 1087

ETF Symbol	ETF Description	XTF Rating	Exp. Ratio	Asset class	Index	Market Cap
IEA	SPDR Dow Jones Industrial Average ETF	10	0.17000	Equity	Dow Jones Industrial Average Index	\$8,024,726,086
VNO	Vanguard REIT Index	10	0.12000	Real Estate	MSCI REIT Index	\$6,093,084,100
EPH	Pharmaceutical HOLDERS	10	0.10400	Equity	Amex Pharmaceutical HOLDERS Index	\$939,982,981
EXA	CurrencyShares Australian Dollar	10	0.40000	Currency	AUDIUSD exchange rate	\$714,860,000
BND	Vanguard Total Bond Market ETF	10	0.11000	Fixed Income	Barclay US Aggregate Bond Index	\$7,173,708,000
MDY	Select Sector SPDR-Consumer Discretionary	10	0.22000	Equity	Consumer Discretionary Select Sector Index	\$2,201,078,555
GLD	iShares COMEX Gold Trust	10	0.40000	Commodity	London Gold Market Fixing Ltd PM Fix Price	\$2,046,432,500
XLI	Select Sector SPDR-Industrial	9.9	0.22000	Equity	Industrial Select Sector Index	\$3,442,839,400
XLP	Select Sector SPDR-Consumer Staples	9.9	0.22000	Equity	Consumer Staples Select Sector Index	\$2,390,031,524
XLV	Select Sector SPDR-Health Care	9.9	0.22000	Equity	Health Care Select Sector Index	\$2,890,300,674

Page 1 of 109 (1087 items) [1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] ... 107 108 109

(レーティング情報)



(ヒートマップ)

・XTFのレーティングサービスをグローバルスタンダードに
 ⇒ 米国大手オンライン証券フィデリティが採用
Marco Polo XTF, Inc. 持分法適用会社
 ⇒ 本格始動により子会社化

・国内はコンサルティング営業で着実に売上増加

滅菌器製造販売会社(株式会社メディエート)の子会社化検討

- 手術用具・医療器具の滅菌が、感染防止の要
- 医療器具の高度化に伴い低温ガス滅菌ニーズ高まる
- これまでの主流EOガス滅菌に様々な制約発生
(特定化学物質第2類)

- ・人体に危険
- ・環境汚染
- ・コスト増

EOガス滅菌器の代替需要

薬事承認取得により販売開始
(大学病院・研究機関への導入)

- ・低コスト
- ・環境汚染なし
- ・滅菌対象物を選ばない

日本初ホルムアルデヒドガス滅菌器
→薬事取得により消毒器・殺菌器にも波及

日本発 世界へ

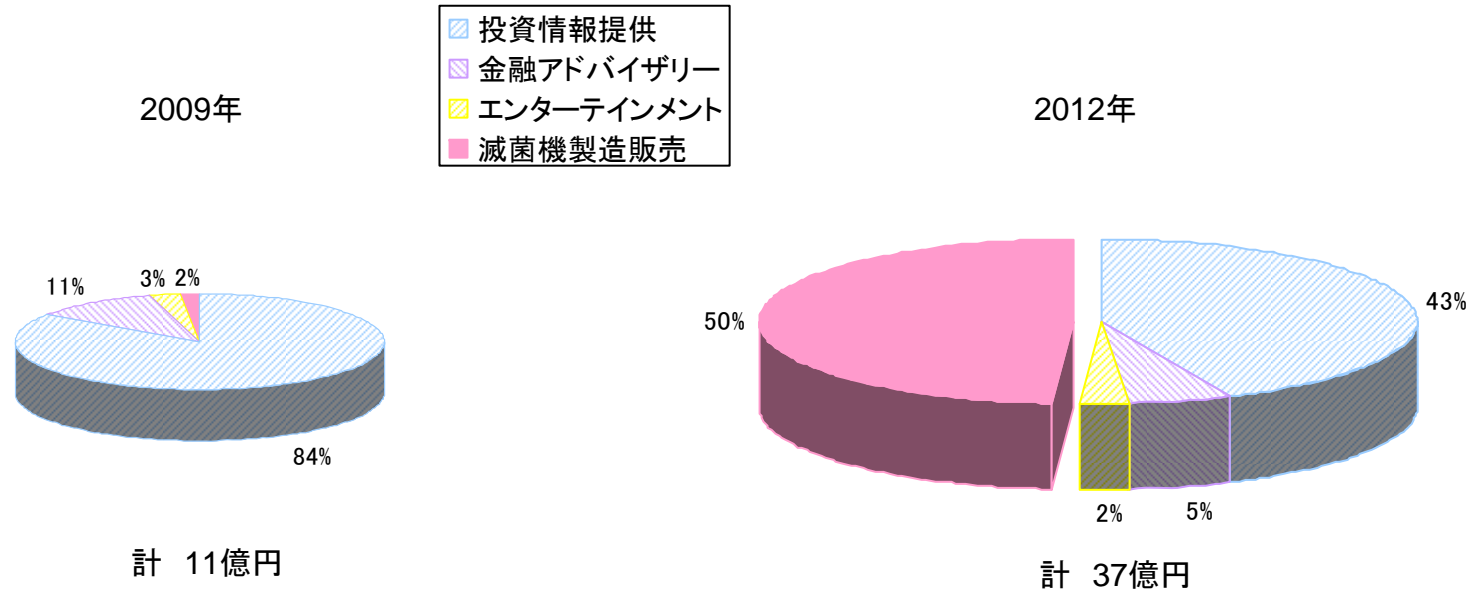
【課題】

- ・CEマーク取得
- ・小型器開発

(製品例)



[当社グループ中期売上計画の構成比率]

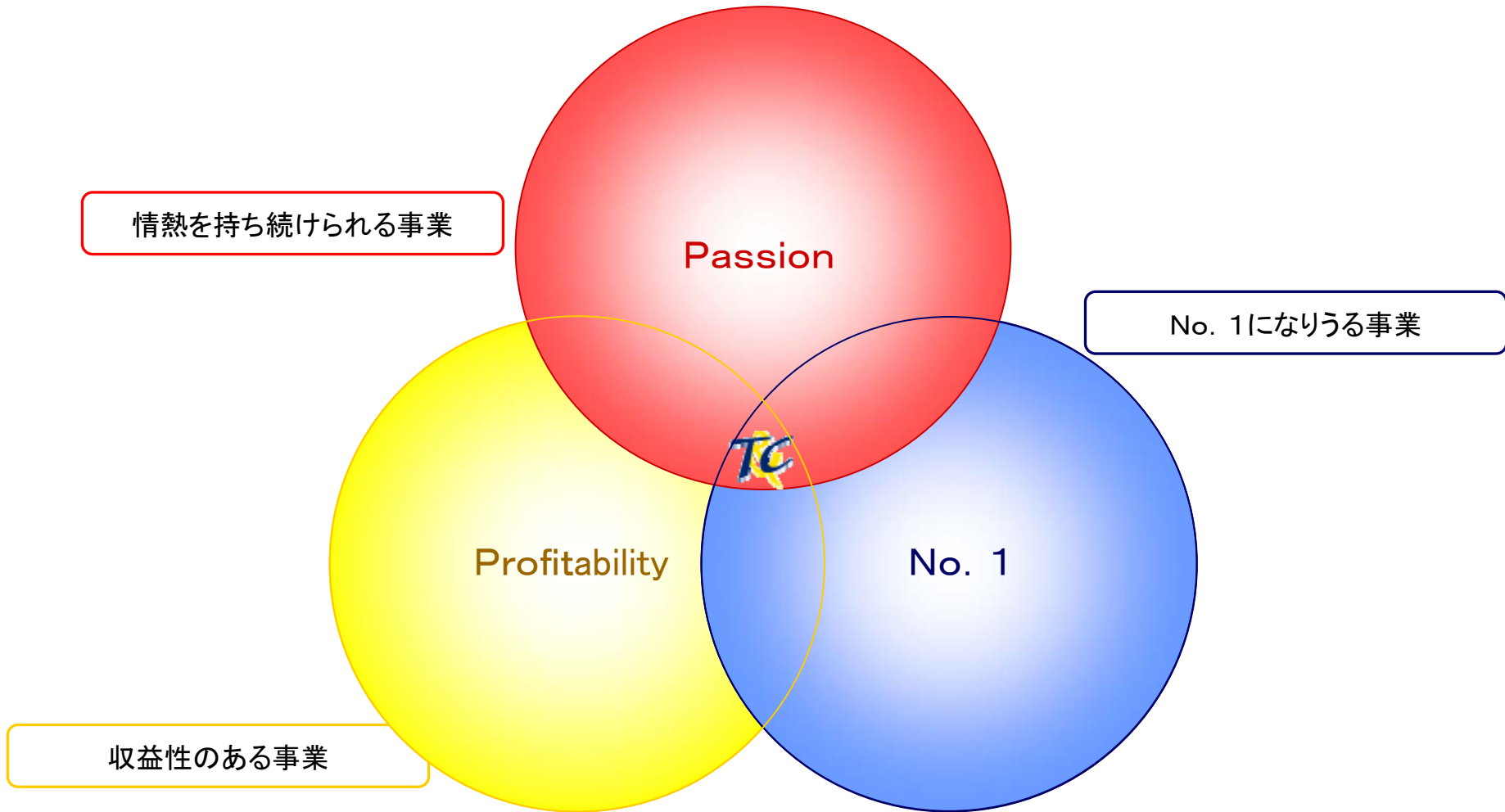


滅菌機製造販売業が当社グループの業績を支える両輪の一つに成長

組織再編の完了後、当連結会計年度の業績予想を公表。

Our Strategy

情熱を持って、No.1となりうる事業に集中し、プロフィットビリティを高めていきます。



持分法を適用した場合のバランスシート

T&Cグループのバランスシート(資産構成)

自己持分方式による連結決算のバランスシート(試算)

※映画関連資産を計上しているSPCを連結から外し、
持分法適用とした場合の試算

《当連結会計期間末(2010年5月31日)》 金額(百万円)

(資産の部)	持分法を適用	連結
現金及び預金	29	29
売掛金	157	153
たな卸資産	4	4
営業投資有価証券	261	31
その他流動資産	232	216
流動資産 合計	685	436
有形固定資産 計	24	24
のれん	0	0
映画制作費	0	713
特許権	186	186
その他無形固定資産	19	19
無形固定資産 計	206	920
投資有価証券	0	243
関係会社株式	105	113
関係会社長貸(持分法)	0	143
その他投資等	117	117
投資等 計	223	618
固定資産合計	454	1,562
資産合計	1,139	1,999

(負債の部)	持分法を適用	連結
買掛金	7	7
短期借入金	49	218
一年以内返済予定の長期借入金	203	203
その他流動負債	252	311
流動負債 合計	512	740
長期借入金	146	146
その他 固定負債	1	154
固定負債 合計	148	300
負債合計	660	1,041

(純資産の部)	持分法を適用	連結
資本金	721	721
資本剰余金	504	504
利益剰余金	△675	△705
株主資本 合計	550	520
評価・換算差額等合計	△71	△103
少数株主持分合計	0	541
純資産合計	479	958
負債・純資産合計	1,139	1,999

映画関連資産のうち
当社グループ
責任投資のシェア

T&C Media Content II	20.2633%
T&C Ventures	37.0370%

社名	株式会社T&Cホールディングス
設立	2001年8月
事業内容	金融市場・経済に関する調査、研究及びその情報の提供、販売 証券業務・資産運用・投資に関するコンサルティング 有価証券および不動産の運用、投資、保有
所在地	〒105-0021 東京都港区東新橋二丁目4番1号 サンマリーノ汐留6階
資本金	721,917千円(2010年5月末現在)
代表	代表取締役 田中 茂樹
主な株主	役職員、ロー・ブun・ファ、大栄産業(2010年5月末現在)
グループ取引先	ロイター・ジャパン、QUICK、金融機関約200社、他

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し、目標、計画、戦略などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績または展開と大きく異なる可能性があります。不確実性および変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書等をご参照ください。

インサイダー取引に関するご注意:

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、金融証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービスおよびED-NET公開WEBサイト)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

《IRに関するお問合せ》

株式会社T&Cホールディングス 業務部

電話番号 : 03-5425-7013

E-mail : ir_contact@tandch.com